

「ともに学び、自ら深める、」

～長崎東版アクティブラーニング型授業を目指して～



長崎県立 **長崎東** 中学校・高等学校

背景

- ◎SGH 研究指定・国際科設置 (H27 年度～)→グローバルな課題の解決に向けて積極的に行動できるリーダーの育成
- ◎新入試 (H32 年度～)→思考力・判断力・表現力の一層の重視
- ◎新学習指導要領 (H34 年度～)→主体的・対話的で深い学び

新たな授業手法が必要 → **アクティブラーニング型授業導入**

立ち上げ

長崎東に
求められるもの

受験学力

グローバル社会対応力

ともによき世を創る

スローガン決定!

「ともに学び、自ら深める、」

取組の変遷

AL型授業を取り入れた授業改革予定表(案) [H28.9改訂]

■平成28年度(1年目) ※AL型授業を全員が実践できるようになる!

時期	内容	ねらい等
1学期	実践①「とにかくAL型授業をやってみる。」	→ 課題や疑問等の教科内での共有
7/15	◆第1回授業研究会 ・講師: 京都大溝上教授 ・外部参加あり	→ AL型授業の意義及び実践上の留意点の理解
2学期	実践②「溝上教授からの助言を踏まえたAL型授業をやってみる。」	→ 改善策の検証及びさらなる改善の教科内での検討
11/17	◆第2回授業研究会 ※授業週間: 11/14~17 ・講師: 長崎大川越助教(予定) ・校内のみ(予定)	→ 本校が目指すべきAL型授業の在り方の共通理解
3学期	実践③「本校が目指すべきAL型授業を個人で試行錯誤してみる。」	→ 教科の特性に即したAL型授業の個人での追及

1年目「とにかくやってみよう!」

- ・第1回授業研究会「AL?」
- ・AL週間(平成28年11月) 原則全職員がAL型授業を実施し、相互参観



- ・第2回授業研究会「外化を盛り込む」 研究授業 職員研修

2年目「発問を磨こう!」

- ・AL週間(平成29年7月) 全職員がAL型授業を実施し、相互参観
- ・第3回授業研究会「内化→外化→内化」 研究授業 授業研究 職員研修
- ・第4回授業研究会「第2内化の発問」



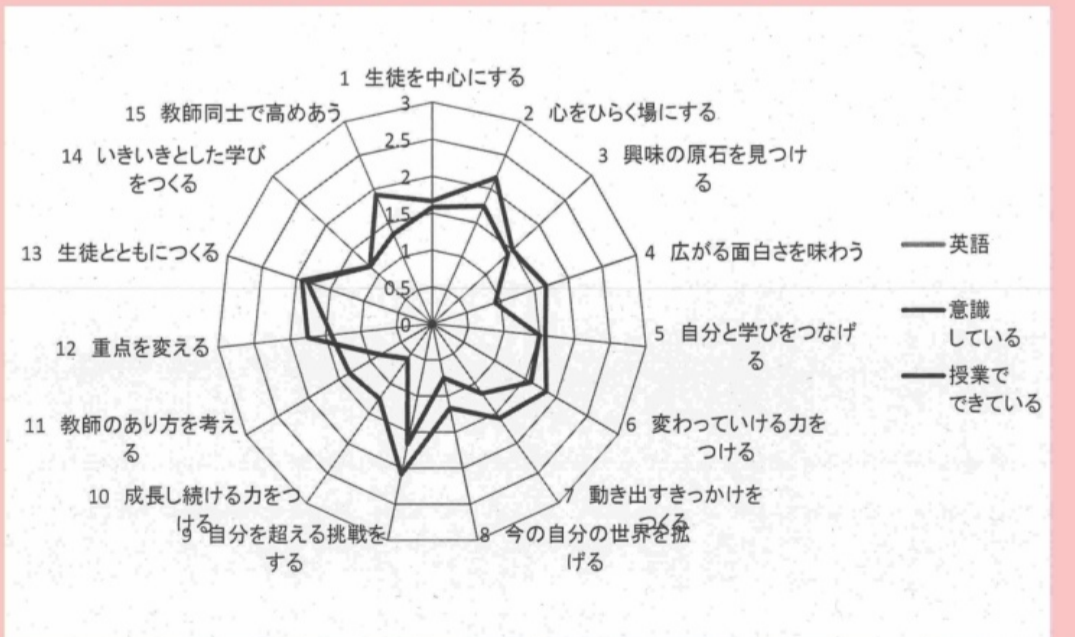
アクティブラーニング型授業の実践 授業研究

■平成29年度(2年目) ※長崎東版のAL型授業を完成する!

時期	内容	ねらい等
1学期	実践④「本校が目指すべきAL型授業を教科としてまとめる。」	→ 教科の特性に即したAL型授業の検討
7/?	◆第3回授業研究会 ※授業週間: 未定 ・講師: 長崎大川越助教(予定) ・校内のみ(予定)	→ 教科の特性に即したAL型授業の検証と改善点の共通理解
2学期	実践⑤「本校が目指すべきAL型授業の原型を教科として完成する。」	→ 改善点の実践を通して本校におけるAL型授業の完成
10/7	◆第4回授業研究会 ・講師: 京都大溝上教授 ・外部参加あり	→ 長崎東におけるAL型授業の講評及び今後の示唆
今後	実践⑥「溝上教授の示唆を踏まえて、AL型授業を深化させる。」	→ 各個人で授業改善に努める。

発問実践(内化・外化)

各教科での現状分析
→教科の特性を生かした発問実践



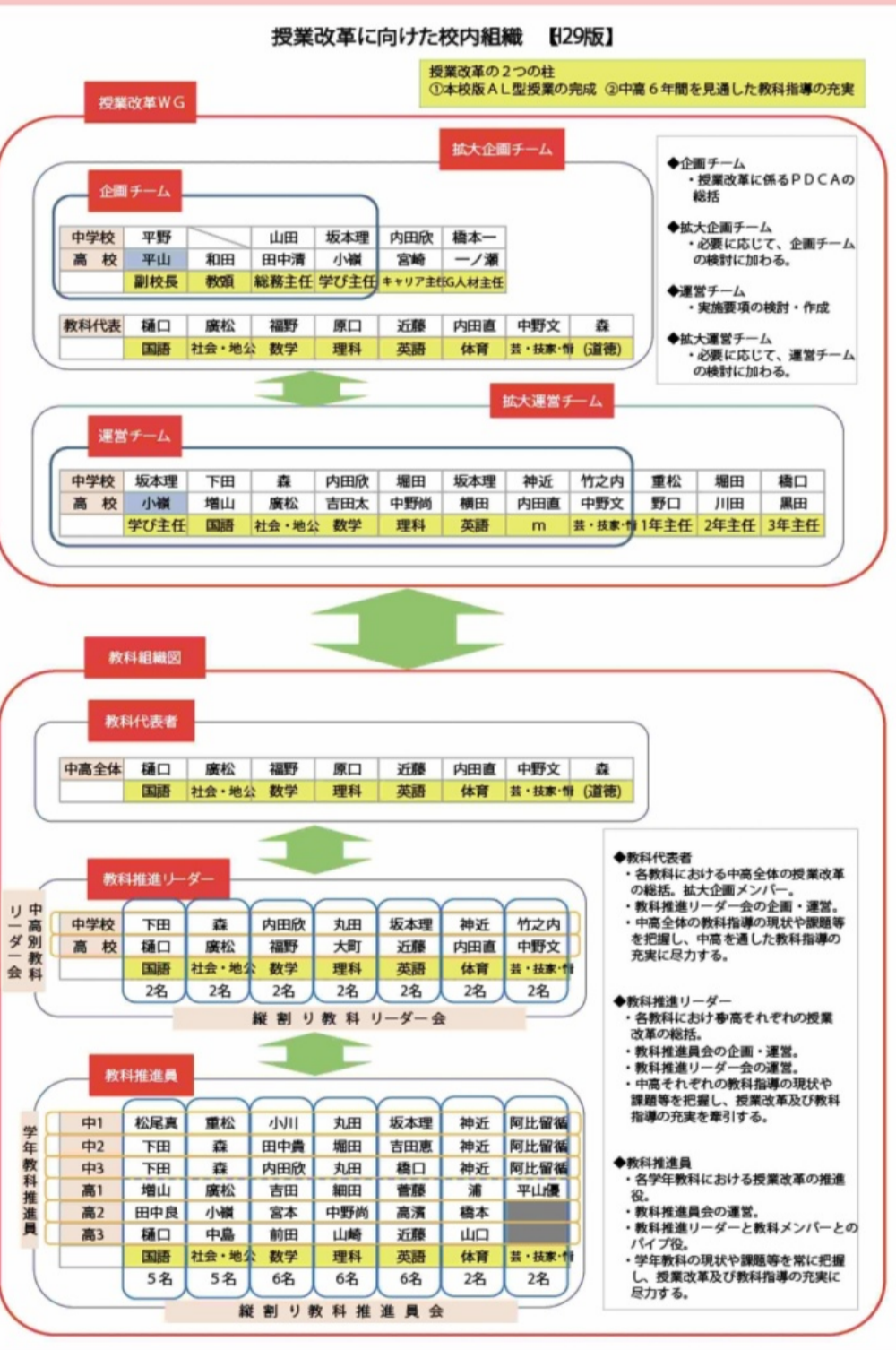
Benesse ALP(アクティブ・ラーニング・パターン)による

→ AL型授業 実践記録シート

AL型授業 実践記録シート② (中高) 授業者氏名(小瀬 莉正)

日時/場所	平成29年 7月 10日(月) 3校時/場所(3-6)
実施クラス	中・高 3年 6組 教科(科目) 世界史B
授業のテーマ	B2 「なぜだろう?」と思うきっかけをたくさんつくり、様々な現象に対して「知りたい」「わかりたい」と思える感覚を育てていく。
単元名	合衆国とラテンアメリカ諸国の独立(1/2本時)
内容	合衆国独立の経緯について理解する
本時の目標	◆AL前の展開 ①印刷法の内容について説明し、その背景について問う。(AL) ②対立の激化と独立戦争の開始について説明する。 ★③独立戦争の経緯について説明し、植民地側勝利の要因について問う。(AL)
授業展開の概観	◆AL場面で発問と展開 ○第一内化: 発問「ポーランド人コシュシコは、なぜ植民地側で参戦したのでしょうか?」 (展開) 各自で考える ○外化: 発問「独立宣言の本文を読んでみよう。コシュシコが参戦した理由が「ありませんか?」 (展開) 個人で考えた後、グループで意見を話し合う。(独立の正当性について問う) ○第二内化: 発問「国際情勢についても考えてみよう。イギリスと諸外国との関係はどのように変化していったか? それは植民地側に有利か、不利か?」 (展開) 独立に有利だった国際情勢について理解させる。
振り返り	◆AL後の展開 ①フランスの参戦・武装中立同盟について確認する。独立戦争の終了と講和条約について説明する。(生徒自身の検証) ②年表と資料を使って本時の学習内容を復習させる。 ・実践及び参観シートを基に振り返り・改善点・気づき等

※授業後、参観者の参観シートと合わせて平山にご提出ください。



↑校内組織立ち上げ
(分掌再編とWG編成)

成果と課題

【成果】授業改革できる雰囲気(職員相互参観・授業改革の工夫) 生徒の主体的な学び・深い思考・周囲への配慮
【課題】さらなる授業改革(第2内化の発問、内化→外化→内化のプロセス、逆算の授業設計、高い視点からのまとめ)

AL型授業による授業改革に取り組む必要性はどの程度理解できているか

AL型授業(外化を仕組む)は実践できるようになったか

以前より「発問の質」にこだわるようになったか

生徒に活動させた上で、高い視点から活動をまとめることができているか

